

エミリーの

見て歩き

No. 3

「ミスマッチ? いいじゃない!
それが自分自身だもん」

「いつも履いている靴のひもが片方切れてしまったので、靴屋で買おうとしたら、同じ色のがないねえなんて言われたので仕方なく赤いやつを。片方は青で、こっちは赤。靴屋のおじさんは、ちっともおかしくないよ、どっちも靴ひもなんだからね、なんてマジメに言うので、そのとおりですよと言って僕は、なんとなく僕らしいな、と思ってしまうようになったのです。」

★荒井良二の『ぼくが ぼくに ぼくようび』から

皆さんは今、どんな靴を履いていますか？ 私の靴は少し変わっています。でも、私らしい靴を履いていると思っています。片方は台湾という靴で、もう片方はカナダという靴です。

私は小さい頃、一つの疑問を心に抱いていました。それは、私はいったいどこの国の人か、ということです。私は台湾で生まれ、11歳の時にカナダへ移住しました。家では中国語で話すよう親にしつけられ、大好きな食事はご飯と麻婆豆腐、家で定期購読している新聞は中国語で…と、家では台湾人と変わらない生活を送り、中国への愛着も感じていました。そのためか、黒っ

ぽい髪に私と同じような肌の色の人を見ると、なんとなくホッとするのです。だから、いつしか自分の靴は両方そろった台湾の靴だと思えるようになりました。

ところが日本で就職して、自分のアイデンティティに対する意識は変わってきました。多くの人が私のアジア系の顔の中に少しでもカナダ的な特徴がないかじろじろ眺め、「日本人みたいですね」とよく言います。最初の頃は、私も熱心に自分の両親が台湾人で、私が小さい時家族とカナダに移住したことを説明していたものでしたが、そのうちすぐに自分が日本人でないこと、自分の国籍を絶えず説明することに疲れ果ててしまいました。そして、最終的にどうにか腑に落ちたという、人々の和らいだ表情にわずらわされることになりました。「じゃあ、あなたは中国人なのね！」……叫ばれる一言。「違う！」……いつも私の頭の中で小さな声が叫んでいました。「私は中国人であって、カナダ人でもある！」カナダ国歌を公用語である英語とフランス語で歌えるし、鶏の足だって食べるし、ホッケーだって大好きなのに……。なぜ見知らぬ人までに「私が外国人だ」と区別されるのか？ それに、なぜそこまで人目を気にするのか？ 私には理解できませんでした。

そのとき、自分の考え方や価値観は、アジア的ではなくカナダ的…それまで両方そろった靴を履いていると信じていたのに、そうではないことに気付き、少し寂しくなった覚えがあります。

でも、しばらくしてからある人に「あなたはあなたで、他のだれでもない。過去、夢、経験、それに今まで出会った人々、そのすべてが今のあなたを作りあげている」と言われました。それから、ミスマッチな靴を履く、ありのままの自分を、少しずつ受け入れられるようになりました。

移民によって様々な文化が持ち込まれたカナダには、私のようにミスマッチな靴を履いている人が大勢います。ありのままの自分を表す自分だけの靴を履く自分自身を、私はいつまでも大切にしたいと思います。

「英会話教室」と「中国文化講座」の開催のお知らせ（4月分）

開催予定月日	教室のテーマ	内 容
4月5日(火) 19:00～21:00	英会話教室 —自己紹介	自己紹介、面接ゲームをしながら、もっとお互いよく知り合しましょう。
4月12日(火) 19:00～21:00	中国文化講座 —中国茶教室	皆で集まっておしゃべりする楽しい中国のティータイムを紹介します。お茶の入れ方も体験しましょう！
4月19日(火) 19:00～21:00	英会話教室 —クイズで 国際理解	英語の“ジェパディ Jeopardy”クイズゲームで、世界の国々のことを知りましょう！

場 所 鬼北町中央公民館
2階視聴覚室
講 師 鬼北町国際交流員
エミリー・ウー
対 象 中学生以上
参加申込 平成17年4月1日(金)
参加費 無料
問合せ先 鬼北町役場 学校教育課
☎45-1111 (内線416)

2月19日に、日吉住民センターで「英語で遊ぼう」の最終回を行いました。ゲーム、歌を通して、日常的な単語を使った英語でのコミュニケーションを図ることを目的とした「英語で遊ぼう」(全8回)には、昨年5月の開講以来、毎回20名ほどの子どもたちが集まりました。5回以上参加した子どもには修了証明書を発行しました。

